

大きな憧れをいただく大草っ子



# 大草小学校だより 「だいじょうぶ」

第5号 平成29年6月15日(木) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「大草トライアングル！」 トリプルC

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



## 風と土、初夏の薫り！

昭和40年代でしょうか。私の家の周りには、たくさんの子どもがいました。子どもたちは、家の縁側を伝って隣の家にぴよんと飛び渡り、遊びに行っていました。家に水道はなく、共同で使っていました。遊び道具は特になかったの、秘密基地を作ったり、ビー玉をしたり、釘を地面に刺したりして、夢中で遊んでいました。男女の隔



たりもなく、年上の兄ちゃんや姉ちゃんの言うことは、絶対でした。悪さをすると、分け隔て無くどの家庭からも怒られていました。時には、近所のおばちゃん(親戚ではない)の家で、晩ご飯やお風呂もいただいて、夕方を過ごしました。その頃には、季節の風や土の薫りが漂っていたように記憶しています。

10日に大草塾で「田植え」と「どろリンピック」を行いました。私は、活動中ずっとなつかしい季節の風や土の薫りを感じました。大草の子どもたちは、今なくなりつつある何かを感じ取っています。大草塾の皆様に感謝いたします。



おはじき

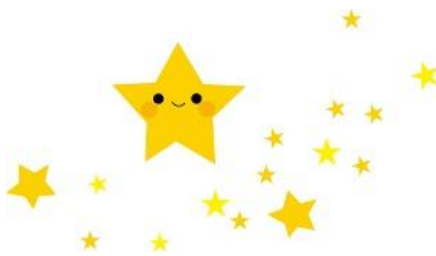
金子みすゞ

空いっぱいのお星やま、  
きれいな、きれいな、おはじきよ。

ばらり、とおはじき、撒きました、  
どれから、取ってゆきましょか。

あの星  
はじいて  
こう当って、  
あれから  
あの星  
こう取って。

取っても取ってもなくならぬ、  
空のおはじき、お星やま。



## 学校と家庭 学力向上! ( )/

4月から大きな行事が続いていましたので、あっという間の2か月でした。そのような中でも、子どもたちは授業に臨み、時には担任の先生方に気合いを入れられながら<sup>^^</sup>;奮闘しております。



私が授業を参観しながら、また、担任の先生方との話合いの中でよく話題に上がるのが、「**学びに向かう力**」

が不足しているのではないかとということです。所謂、学習意欲不足ということです。原因はいくつか考えられます。一つ目は、これまでの知識・理解が十分でなかったということです。既習事項が分からないことには、授業に臨む意欲はわいてきません。二つ目は、体調不良による意欲減退です。寝不足や疲れがあると授業に集中することはできません。規則正しい生活がポイントとなります。三つ目は、準備不足です。忘れ物をして、学習用具がそろわなかったり、宿題をしていなかったりすると学びをスタートすることすらできません。

他にも原因はあると思われませんが、お気づきのよう、どの問題を解決するためにも「学校と家庭」の連携が必要であるということです。学校だけで解決できる問題ではなく、両者が相互理解し合いながら、子どもの成長を支えなければならないことは明確です。子どもの「**学びに向かう力**」を育てるために、家庭で行わなければならないことは、担任からお知らせいたしますので、どうぞ協力いただきますようよろしくお願いいたします。



余談ですが、学校では、「**深い学び**」を追求しています。主体的な学びとなるように、身近で興味を持てる素材を授業に取り入れます。そして、ひと・もの・こと等との対話を重視しながら思考したり、判断したり、表現したりする活動を取り入れていきます。それを踏まえて、「**深い学び**」とするために、これまでに学んだり、生活の中で経験したりしたことと

授業内容を関連づけることを行い、教え込むスタイルの授業から連続性のあるスタイルの授業を進めるよう心掛けています。御家庭にお願いすることは、子どもたちが今何を学んでいるのかを知っていただき、話題にあげていただきたいということです。お願いばかりで申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

**<学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。>**